



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2020年 8月27日 第 3273 回 週報第 3273 号

本日 8月27日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 48(48)名	出席率 77.42%			
前々回 8月 6日	会員数 63名	対象者 61名	出席者 39(39)名	出席率 63.93%	MUP 3名	計 42名	修正率 68.85%

本日の卓話者ご紹介

湘南ステーションビル
取締役平塚店長 丸茂 淳会員



卓話

「新入会員卓話」

丸茂 淳

一昨年の8月に入会させていただきました丸茂淳です。この度は伝統のある平塚ロータリークラブに入会させていただき、また本日はこのような機会を設けていただき有難く思っております。

自己紹介

簡単に自己紹介をさせていただきますと私は1967年神奈川県綱島生まれ小学校6年生まで横浜で過ごしました。神奈川、横浜愛も強く当時の甲子園は横浜高校、東海大相模が強くいつも応援していた記憶があります。その後中学入学と同時に千葉県の我孫子市に転居し高校は成田高校という成田山新勝寺が経営する高校に入学しました。大学は神奈川愛、横浜愛が続いていたため横浜市立大学に入学し社会学を専攻いたしました。といっても半分以上は一人暮らしがしたかったから横浜にというのもあり悪友たちと当時の学生にはお決まりの飲み会と麻雀の日々を過ごしました。現在は千葉県の船橋市に妻と2人の子供と住んでおります。

今回は大学を卒業してから入社した JR 東日本のお話と現在勤務しております湘南ステーションビル、ラスカ平塚についてお話させていただきたいと思っております。

JR 東日本入社

私は大学卒業後 1991 年に JR 東日本に入社いたしました。国鉄から JR になった JR 東日本の発足が 1987 年で 1988 年から新卒採用を始めましたので JR 東日本の 4 期目の採用となります。当時は私鉄をお手本に鉄道以外の事業を伸ばしていくという方向性があり、私もそのような会社に魅力を感じておりました。同期の文系では半分くらいが鉄道以外の事業を希望し入社していたような記憶があります。

入社後は当時開業間近であった山形新幹線の開業を控えた山形駅に実習生として配属になり、新幹線の開業とともに駅が大きく変わり、駅ビル、ホテルの複合ビルが開業するのを目の当りにし、より一層駅ビル事業への興味と関心が募ったという状況でした。駅ビルができた時の山形のお客様の笑顔を見た瞬間、いまでもその光景と自分の中の高揚感をはっきりと覚えていますし、人間はそういう自分の仕事を決めるキッカケが人生の中であるのだと今振り返って感じています。

ラスカ平塚について

その後主に駅ビルの仕事に従事し(株)アトレ、千葉ステーションビル(株)、(株)ジェイアール東日本都市開発などの勤務を経て一昨年から湘南ステーションビルで勤務しております。おかげさまで私が仕事をしている期間、駅ビル、ショッピングセンターは順調に推移することができましたが、現在は皆さまご存知の通りお客様の価値観の変化、EC など競合の攻勢で駅ビルも難しい局面を迎えています。更には昨今のコロナ禍の中で今後も地域の皆様のお役に立てる駅ビルとは何か、将来の駅ビルを考えながら日々仕事をしております。





卓話を終わられ、鳥山会長と記念撮影の丸茂会員

会長報告

今月は新規会員の原田さんにご入会いただきました。思えば今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。会長の立場でこんなことを言うとお叱りを受けるかもしれませんが、私は“会員増強”という言葉があまり好きではありません。なぜかという、どうしても会社の営業目標のように聞こえてしまうからです。

その一方で、一見矛盾するようですが、私は平塚のみならず、ロータリークラブの会員は多い方がよいと確信しています。まず、私たちには、社会奉仕というロータリアンとしての純然たる使命があります。会員を増やすことは単なる目標ではなく、この使命を果たすためと言えらと思います。

R I ホルガー・クナーク会長も「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考えるのは、やめる必要がある。どの会員も、私たちを変えてくれる」と言っています。実際、私たちのクラブは原田さんの入会で64人と人数が多く、そのおかげで他のクラブに比べると委員会が充実し、かつ中身の濃い活動ができています。人数が多いということは、その分様々な考え方や価値観の人がいるということです。それが新たな知恵を生み、活動を活発化させる。まさに私たちを変えてくれることになりません。

人が増えればその分ご縁が増えます。きっかけができ、新たな挑戦ができます。新会員がひとり増えれば、その人が持っている経験、価値観、スキルなどがクラブと融合します。つまり、クラブに人が増えるということは、単純計算してプラス1になるのではなく、その人が持っているものと、クラブにいるみなさんが持っているものとが掛け算となり、10にも100にもなるということです。

だから私は、会員が多い方がよいと確信しています。改めて申し上げます。原田さん、ご入会ありがとうございます。私たちの仲間になってくれてありがとうございます。そして、私たちを変えてくれるきっかけを、ありがとうございます。

幹事報告

◎2020-21 年度青少年交換学生プログラム募集内容の変更についてお知らせいたします。

先週、鳥山会長のお話がありましたが、青少年交換学生はロータリークラブとして大切な役割があり、青少年の新しい未来を切り開くお手伝いをしています。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で学生の派遣が中止となりました。

その後、派遣予定者の学生の希望をお聞きし、次年度の派遣候補生の権利を継続することとなりました。そのため、今年予定されていた21-22年度派遣の募集及び選考は行わないこととなりましたので、ご理解をお願い致します。

◎神奈中グランドホテルさんよりお願いがあります。

次回の例会9/3は当クラブではないのですが、健康診断用車両が2台駐車場を利用致しますので、できるだけ乗り合わせてご来場願います。



本日ご入会の原田篤志新会員と鳥山会長

委員会報告

委員会報告はございません

メークアップ (MUP) 3名

瀬尾光俊会員、森 誠司会員、山口紀之会員

本日のスマイル 23名

ゲスト 0名

ビジター 0名

卓話・行事予定

9月 3日(木) 一般社団法人 日本音楽医療福祉協会
理事長 落合洋司様

9月10日(木) 入会記念卓話 永井太郎会員

市内例会変更

現在ございません。

